

ヨーロピアン・ジャズ・トリオ

〈札幌スペシャル〉 *European Jazz Trio Sapporo Special 2025*

EUROPEAN JAZZ TRIO

ヨーロピアン・ジャズ・トリオ

デビュー35年を優に超えるヨーロピアン・ジャズ・トリオは、オランダのジャズ・ミュージシャン3名で結成されたジャズ・ピアノ・トリオ。1989年にリリースしたアルバム『ノルウェーの森』が大ヒットして以来、多くの録音と演奏活動が続けており、1995年に2代目ピアニストとしてピアノのマーク・ヴァン・ロンを迎えてからは、ベースのフランス・ヴァン・ダー・ホーヴァン、ドラムのロイ・ダックスからなるトリオとして全世界で活発な活動が続けている。彼らの音楽は、あらゆるスタイルやジャンルの曲を取り上げ、それにジャズの解釈と美しいアレンジによる独自の音楽を創ってきており、彼らにとって『ジャズ』とは、形式やメロディ、サウンド、リズム、グルーブを自由に組み合わせることで新鮮で斬新な音楽を創作することを意味しており、それによってジャズの境界を広げることに成功している。これまでに数多くのアルバムをリリースしているが、最近ではロール・プレイング・ゲームの「メイプルストーリー」の音楽を編曲しオーケストラとも共演している。今回は、待望のアルバム「ヨーロピアン・コンフォート」のリリースを記念して全国ツアーを行う。



MARC VAN ROON

マーク・ヴァン・ロン (ピアノ)

オランダのジャズ・ピアニスト、マーク・ヴァン・ロン(1967年ハーグ生まれ)は、10歳でクラシック・ピアノを学び始めた。彼のジャズと即興への興味は、プロのジャズ・ピアニストであった父、ヴァウター・ヴァン・ロンから影響を受けた。16歳でハーグ王立音楽院に入学。フランス・エルセン、ロブ・ヴァン・クリーヴェルト、ジェフリー・ダグラス・マジジ、ラニー・コーに師事し1991年に卒業。その後ニューヨークに渡り、バリー・ハリスやリッチー・バイラークに学ぶ。1993年にオランダに戻ると自身のトリオを結成、多くのミュージシャンと共演を続けると同時に、創造的なアート・コンサルティング・グループ「アート・イン・リズム」を共同設立し、聴衆のための学習経験を基とした講演活動を世界中で行なった。その後は演奏活動と並行して、リーダーやグループ、組織のためのクリエイティブ・ファシリテーターとして、即興の技術を主なインスピレーションの源として活用した持続可能な変化と学習プロセスを支援する活動をしている。リーダーとして多くのCDをApple on the Moonレーベルに録音しており、そこではソロ・アルバム、他のミュージシャンとの共作、アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団のメンバーによる「エボニー・バンド」などがある。彼はまた作曲家として、振付家アナベル・ロベス・オチョアのバレエ『ピフォア・アフター』や『シンピオシス』のための付随音楽も作曲するなど、ダンス・カンパニーやさまざまな音楽アンサンブルのために楽曲やオーケストラ作品を作曲し、いくつかのCDをプロデュースしている。

FRANS VAN DER HOEVEN

フランス・ヴァン・ダー・ホーヴァン (ベース)

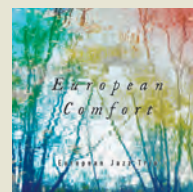
フランス・ヴァン・ダー・ホーヴァンは、オランダのベース奏者、作曲家、編曲家、教育者、マルチ奏者である。彼は、ジェシー・ヴァン・ルーラー・トリオ、イーフ・アルバース・トリオ、フェイ・クラッセン・バンド、レッド・イエロー&ブルー、ジェロエン・ヴァン・フリート・トリオなどのミュージシャンと共演しており、これまでに、クラーク・テリー、ウディ・ショウ、バーニー・ウィレン、ジャック・ディジョネット、エイヴィンド・オールセット、ハリー・スウィーツ・エディソン、アート・ファーマー、ロニー・キューパー、トム・ハレル、リー・コニッツ、ディー・ディー・ブリッジウォーター、トゥーツ・シールマンス、カート・ローゼンウィンケル、等とも共演している。録音では、トーン・ルース・カルテット、ロブ・マドナ、ジェシー・ヴァン・ルーラー、ハン・ベニンク、ディデリク・ウィッセルズ / デヴィッド・リンクス、アート・ファーマー、チャーリー・マリアーノ、フェイルーズ、ルー・タバキン、ダッチ・ジャズ・オーケストラ等と録音を行っている。

ROY DACKUS

ロイ・ダックス (ドラムス)

ロイ・ダックス(1964年生まれ)は、プロのドラマーであった父の影響で早くからドラムを始めた。その後1987年にアムステルダム音楽院を優秀な成績で卒業。これまでにトゥーツ・シールマンス、ランディ・ブレッカー、リチャード・ガリアーノ、オランダのロックバンド、フォーカス、ヤン・アッカーマンなどのアーティストと共演し、録音を行ってきた。また、ヴィンス・メンドーサ指揮のメトロポール・オーケストラ、コンセルトヘボウ・ジャズ・オーケストラ、ヘッシエル・ルンドフランク・ビッグバンドなどのオーケストラでも演奏した。彼は1988年からヨーロピアン・ジャズ・トリオのメンバーであり、トリオとしてアート・ファーマー、チャーリー・マリアーノ、ジェシー・ヴァン・ルーラー、タイス・ヴァン・レーアとも共演している。

European Jazz Trio 最新アルバム



European Jazz trio European Comfort

2025.9.24発売 PCCY.30252 ¥3,000(税込)

ヨーロピアン・ジャズ・トリオ(EJT)10年ぶりのニュー・アルバム。イーグルス、U2、スティング、オアシス、プリンス、フィル・コリンズなどのヒット曲を、EJTの特長であるヨーロッパの気品を感じさせるソフィスティケートされたピアノ・トリオでカバー。